

修学旅行 in New York & Washington D.C. (中学2年生)

「百聞は一見に如かず」

アメリカという異国の地で味わった「本物の世界」は、生徒たちの今後の人生にどのような変化をもたらすのでしょうか。

「本物を見る」ことは、これまでの概念的思考を大きく変化させる可能性を秘めています。例えば911メモリアルミュージアムやリバティ島の「自由の女神」、そしてホワイトハウスなどの歴史的建造物、またルノワールやゴッホ、そしてフェルメールなどの芸術作品等、歴史や美術の授業などで学んだ知識や見聞だけでなく、実際に足を運んで自分の目で見ることで見識を深めるだけでも人生に変化が生じないはずがありません。

またスミソニアン博物館のナショナルモールで披露した仲間との合唱やダンス等、貴重な経験を積むことが出来ました。生徒たちにとって、今回の旅行で感じたことや味わったことは、きっとこれからの人生の「スパイス」となることでしょう。



今後は、修学旅行で感じたアメリカの文化や歴史、風土等に関する疑問や新しい発見の中からテーマを絞り、ポスターセッションという形式で発表を行います。「思い出」を積み重ねることで、人間性を豊かにし、そして先の人生を支えてくれるから次の一步を踏み出せる。今回の経験が、生徒たちのこれからの人生にどのような影響を与えるのか、それは誰にもわかりません。もしかすると英語の学びの楽しさに気づいた生徒がいるかもしれませんし、10年後に海外で活躍する国際人になっているかもしれません。そのように想像するだけでもワクワクします。この修学旅行の本当の価値が問われるのは「今」ではなく「これから」です。

日程：平成30年11月14日～20日 訪問地：アメリカ合衆国（ニューヨーク & ワシントン D.C.）

